

のびすく仙台 イベント報告



1/20(日)のびすく仙台ありがとう祭

開館 15 周年を記念した今年のテーマは「わが街“仙台”」。会場には、笹かま焼き・ひょうたん揚げ・麻婆焼きそばなどの屋台が立ち並び、伊達政宗に扮したはらぺこあおむしのフォトフレームなどもあり、るーぷる仙台的バスに乗ってコーナー遊びを楽しんでもらいました。

エンディングはスタッフによるパペットシアター。人形たちの登場に大興奮のこどもたちでした。大きな拍手にスタッフもたくさん元気をもらえた一日になりました。



1/24(木)グループ相談

「乳幼児の病気とけが」

講師：岡崎 草代夏さん
(仙台青葉学院短期大学看護学科 小児看護学助教)

冬場に流行する感染症として、ロタウィルス・RSウィルス・インフルエンザの3つをあげ、症状や、自宅でのケアのお話しのあと、嘔吐した時の処理の仕方の実践もあり「分かりやすかった」との声も多くありました。

子どもの具合は「機嫌・活気・顔色」の3Kがポイントです。しっかりと観察することが大切ですよとお話もありました。

また、誤飲、ヤケド、溺水、子どもの一時救命処置のお話のほか、チャイルドビジョンメガネで、子どもの視野がどれだけ狭いのかを体験しました。

1/30(水)親子でドキドキ！

「リトミック&フルーツコンサート」

演奏：永原 尚子さん(フルーツ奏者、リトミック講師)
渡邊 礼子さん(ママフルーツ奏者)

たくさんの親子が遊びにきてくれました。子ども向けの童謡からしっとりしたクラシックの曲まで幅広く、親子一緒にフルーツの音色を楽しんでいました。



曲に合わせて手拍子をしたり、みんなでマラカスを持って参加したり、笑顔あふれるコンサートになりました。

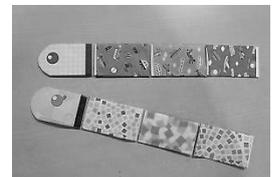
2/9(土)手づくりおもちゃをつくろう

「くねくねへびさん」

講師：マミーさん(おもちゃコンサルタントマスター)

牛乳パックを使い、くねくね動くへびさんをつくりました。好きな折り紙を選び、目のシールを貼ってオリジナルのへびさんの完成！

くねくねと不思議に動くへびさんに、喜んで楽しく遊んでいました。



家族のかたち 「特別養子縁組編その6」

「お母さんのつくるごはん、おいしいね」、大した料理は作れない私にもうすぐ1年生の長女は笑いかけます。「お母さんって厳しいよね」、もうすぐ3年生になる長男はちょっと背伸びをしたい年頃。3歳になった次女は、2人の後ろ姿をじっと見て学んでいます(笑)

「産んだ人に会ってみたいな」「産んでくれてありがとう」「なんで一緒にいられなかったの？」子どもの素直な気持ち、疑問には、年齢に合わせて理解しやすいように答えてきました。そうすると、子どもたちなりに考え、自分の心で納得していくようです。

子どもたちがまっすぐに、笑顔で元気に育ちますように。それは私たちの願いでもあり、生みのご家族の願いでもあります。子育てって、幸せも大変なこともたくさん！だからこそ、まわりのみんなにも素直に伝えて、いろんな人に関わってもらいながら、ありのままのその子を受け止めていきたいなと日々思っています。

家族のものがたりは、血のつながりがない2人が出会い相手のことを大切に思い、自分より相手に幸せになってほしくて、一緒にいることを選んで始まります。

まだまだ子育てで真っ最中！な私たち特別養子縁組家族のものがたりを聞いてくださり、ありがとうございました。いつか、みなさんの家族のものがたりを聞かせてほしいなあ。



子どもの遊び場づくりをしている3児の母親
佐々木啓子(すず)